

祝

ふなおか学園 創立 50 周年 記念式典 式次第
ふなおか更生園 創立 30 周年



とき 平成 28 年 10 月 30 日(日)

ところ ふなおかワークセンター

新潟県中東福祉事務組合

ふなおか学 園 創立 50 周年

記念式典 式次第

ふなおか更生園 創立 30 周年

- 1 開式のことば
- 2 園歌斉唱 …………… 利用者・家族会の皆さま
- 3 式 辞 …………… 管理者 五泉市長 伊藤 勝美
- 4 来賓祝辞 …………… 新潟県知事 米山 隆一 様
新潟市長 篠田 昭 様
新潟県中東福祉事務組合
議会議長 渡辺 仁 様
- 5 感謝状贈呈 …………… 管理者 五泉市長 伊藤 勝美
- 6 来賓紹介
- 7 記念品贈呈 …………… ふなおか家族会長 諸橋 勲 様
- 8 アトラクション …………… 思い出のスライドショー
学園利用者の皆さまによる“歌とダンス”
更生園利用者の皆さまによる“よさこい”
- 9 お礼のことば …………… ふなおか学 園 倉田 雪恵 様
ふなおか更生園 渡部 寛司 様
- 10 講 演 会 …………… 玉木 幸則 様
演題「生まれてきてよかった
～てんでバリバラ半生記～」
- 11 閉式のことば

※写真展示（園舎廊下に展示してあります～是非、ご覧下さい）

ふなおか学園創立50周年・ふなおか更生園創立30周年記念式典
御来賓名簿

(順不同)

新潟県知事	米 山 隆 一 様	新潟県立五泉特別支援学校長	
新潟市長	篠 田 昭 様	西 村 武 志 様	
阿賀町長	神 田 敏 郎 様	五泉市社会福祉協議会長	
新潟県中東福祉事務組合議会議長		樋 浦 三 男 様	
	渡 辺 仁 様	五泉市シルバー人材センター理事長	
五泉市議会議長	林 茂 様	塩 原 和 夫 様	
新潟県議会議員	澤 野 修 様	橋田駐在所 新潟県巡查部長	
新潟県議会議員	佐 藤 純 様	酒 田 隆 一 様	
新潟県議会議員	小 島 義 徳 様	ふなおか家族会長 諸 橋 勲 様	
新潟県議会議員	小 林 一 大 様	ふなおか学園・更生園 卒園生	
新潟県議会議員	笠 原 義 宗 様	西 村 勇 一 様	
新潟県議会議員	小 島 晋 様	新潟県知的障害者福祉協会長	
新潟県中東福祉事務組合議会副議長		栗 山 三 衛 様	
	入 倉 政 盛 様	うずらはし 園長 山 本 弘 様	
新潟県中東福祉事務組合議会議員		いずみの里 園長 市 川 宏 昭 様	
	熊 倉 政 一 様	第二いずみの里 園長 高 橋 三和子 様	
新潟県中東福祉事務組合議会議員		満日の里 園長 青 木 ひろみ 様	
	佐 藤 涉 様	(株) まごころネット 代表取締役	
五泉市議会議員	町 田 俊 夫 様	石 本 一 男 様	
新潟県中東福祉事務組合監査委員		まごころ学園・寮 事務局長	
	柄 沢 則 夫 様	金 安 良 則 様	
新潟県中東福祉事務組合苦情解決第三者委員		やひこの里 園長 小 野 正 人 様	
	井 上 ト メ 様	いじみの学園・寮 園長	
新潟県中東福祉事務組合苦情解決第三者委員		中 村 栄 子 様	
	須 田 かずえ 様	魚沼学園・魚沼更生園長	
新潟県中央児童相談所長		山 田 弘 行 様	
	田 代 健 一 様		
新潟市児童相談所長	小 柳 健 道 様		
新潟市福祉部障がい福祉課長			
	田 中 早 苗 様		
五泉市健康福祉課長	皆 川 秀 男 様		
阿賀町健康福祉課長	神 田 一 秋 様		

ふなおか学園創立50周年・ふなおか更生園創立30周年記念式典
受彰者名簿

橋田地域福祉推進協議会

尻上町内会長 辻川吉作様
西四ツ屋町内会長 関谷寛明様
大沢町内会長 山田豊様
橋田町内会長 雲村守様
門前町内会長 横山忠雄様
寺本町内会長 舎川伸雄様
四十九町内会長 荻野耕一様
新保町内会長 樋口俊信様
五百地町内会長 吉井(おろ)秀様
菅沢町内会長 菊池進一様
宮古町内会長 吉井誠様
神職 雲村いっさ斎様

五泉ライオンズクラブ 会長

川口幸平様

五泉市赤十字地域奉仕団五泉分団委員長

佐藤キヨイ様

J A新潟みらい 代表理事組合長

高橋豊様

坂上興産株式会社 代表取締役社長

坂上康衛様

五泉ゴルフ練習場 高山幸子様

デンカ生研株式会社

五泉市消防団第5分団長

樋口勝俊様

白雪会 会長 斉藤益雄様

能代川サケ・マス増殖組合長

吉井文夫様

一包一心 はまや 佐藤裕子様

木越莓出荷組合長 羽賀哲夫様

新津信愛病院嘱託医 清水敬三様

コカ・コーライーストジャパン (株) 支店長

高橋徹様

五泉理容師会 会長 五十嵐政明様

日本歯科大学新潟生命歯学部 病院長

山口晃様

立正佼成会五泉支部長

前川美代子様

農作業指導 小林文夫様

小林春子様

講師 玉木幸則（たまきゆきのり）氏の紹介



《経歴》

1968年兵庫県姫路市に仮死状態で生まれる。4歳そこそこで肢体不自由児療育施設に入所、障害者としての洗礼を浴びる。小中学校は、地元の普通学級で学ぶも、高等学校だけ泣く泣く養護学校へ。1991年日本福祉大学社会福祉学部第Ⅱ部卒業後、知的障害者通所授産施設に勤務するが1年で退職。1992年自立生活センター・メインストリーム協会事務局次長に就任以後、障害者の自立生活運動にのめりこむ。

2009年4月～2012年3月まで、NHK Eテレ「きらっといきる」パーソナリティを務める。

2012年9月末でメインストリーム協会を退職。

《現在》

社会福祉法人 西宮市社会福祉協議会

障害者総合相談支援センター にしのみや センター長

西宮市地域自立支援協議会 会長

特定非営利活動法人日本相談支援専門委員協会 理事

一般社団法人兵庫県相談支援ネットワーク 代表理事

内閣府 障害者政策委員会委員

厚生労働省 相談支援従事者指導者研修に関わる検討委員会委員

兵庫県障害福祉審議会委員および兵庫県障害者自立支援連絡協議会委員

同協議会相談支援部会 部会長

兵庫県合理的配慮アドバイザー

兵庫県リハビリテーション協議会 副会長

愛知県相談支援体制整備事業 スーパーバイザー

愛知県障害者自立支援協議会委員

特定非営利活動法人PASネット 理事 等

NHK Eテレ 毎週日曜日 19:00～19:29

みんなのためのバリアフリー・バラエティ「バリバラ」にレギュラー出演中

《書籍等》

「生まれてきてよかった ～てんでバリバラ半生記～」 解放出版社 2012年10月

「月刊 地域リハビリテーション」2008年7月号～12月号 連載

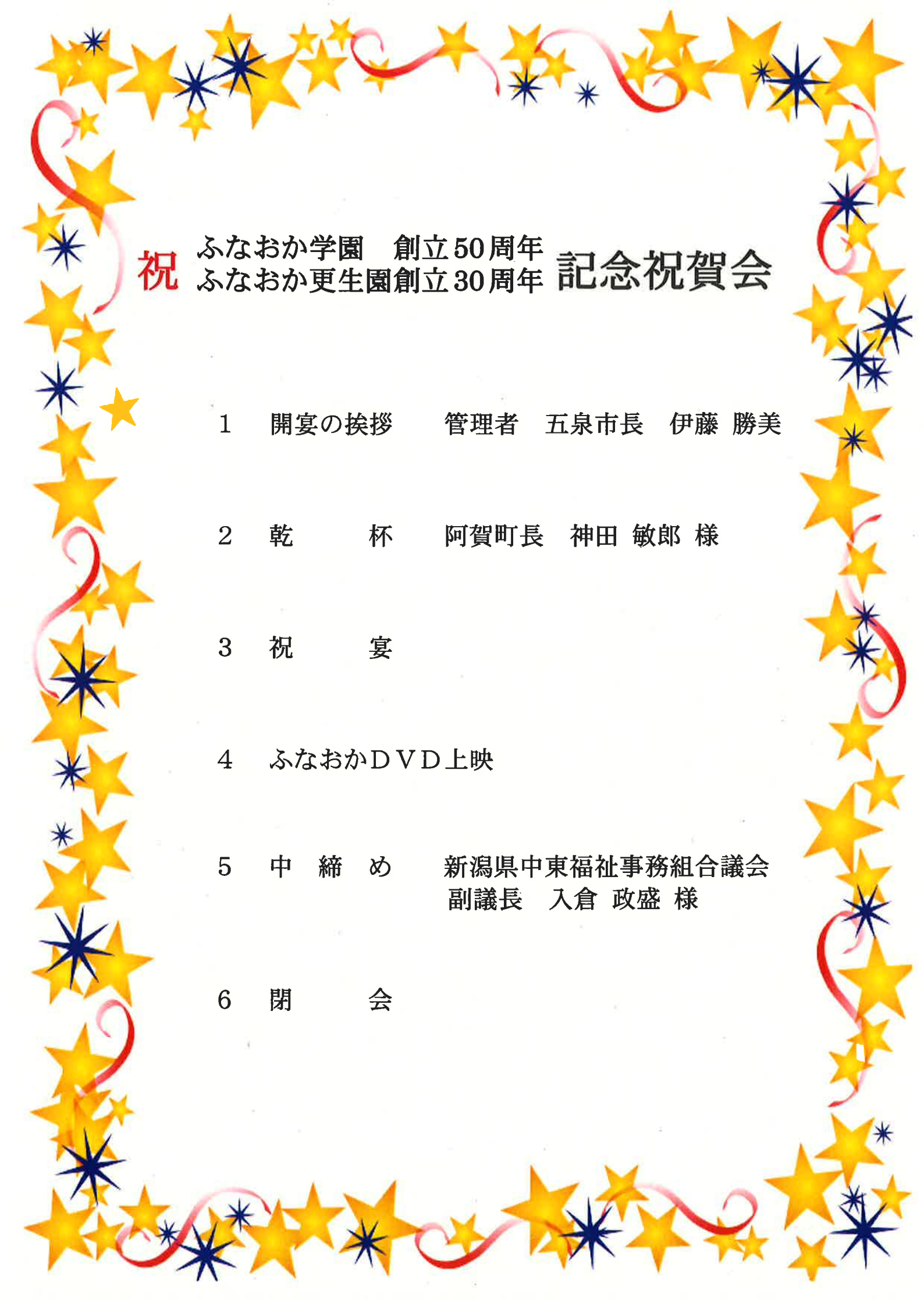
連載「ぼくの生きている風景」 三輪書店

「権利擁護で暮らしを支える ～地域をつないだネットワーク～」

PASネット編 共著 ミネルヴァ出版 2009年2月

「本人中心の相談支援とサービス等利用計画ハンドブック」

朝比奈ミカ 北野誠一 玉木幸則 編著 ミネルヴァ書房 2013年7月 等



祝 ふなおか学園 創立50周年
ふなおか更生園創立30周年 記念祝賀会

- 1 開宴の挨拶 管理者 五泉市長 伊藤 勝美
- 2 乾 杯 阿賀町長 神田 敏郎 様
- 3 祝 宴
- 4 ふなおかDVD上映
- 5 中 締 め 新潟県中東福祉事務組合議会
副議長 入倉 政盛 様
- 6 閉 会

創立記念誌

ふなおか学園 50周年
ふなおか更生園 30周年



ANNIVERSARY
2016
50th/30th

私たちの目指すもの

生命の尊厳

私たちは、障がいのある人たちの一人ひとりを、かけがえのない存在として大切にします。

個人の尊重

私たちは、障がいのある人たちをひとりの人間としての個性・主体性・可能性を尊重します。

人権の擁護

私たちは、障がいのある人たちに対する、いかなる差別・虐待・人権侵害を許さず人としての権利を擁護します。

社会への参加

私たちは、障がいのある人たちが、年齢・障がいの状態などに関わりなく社会を構成する一員としての市民生活が送れるように支援します。

専門的な支援

私たちは、自らの専門的な役割と使命を自覚し、絶えず研鑽を重ね、障がいのある人たちが豊かな生活を実感し充実した人生が送れるよう支援します。

ふなおか園歌

作詞 生沼 信昭

作曲 土田ますみ

一 遠く菅名と 眺めれば
芽吹く若葉に 風薫る
明るい光の訪れに
明日への希望が湧いてくる
ああ 我がふなおかの郷

二 宮古川と 眺めれば
清き流れに 螢舞う
明るい光の訪れに
明日への力が湧いてくる
ああ 我がふなおかの郷





新潟県中東福祉事務組合
管理者 五泉市長
伊藤 勝美

～夢と希望をささえた50年～

このたび、ふなおか学園は創立50周年、ふなおか更生園は創立30周年の記念すべき年を迎えることができました。これもひとえに、関係者各位の皆様はじめ、地域の皆様方のご支援とご尽力の賜物であると厚く御礼申し上げます。

昭和35年に精神薄弱者福祉法が制定されて以降、障がいのある人の適切な保護や指導及び教育の機会を提供するという期待のもとに、入所施設の整備が着手され始めました。こうした背景の中で、中東蒲原地区唯一の児童施設として昭和41年4月、自然豊かな小高い山の上に「ふなおか学園」が建設され運営がスタートしました。以来、昭和61年9月に現在地に移転し、「ふなおか更生園」がスタートするとともに、農園や作業棟の整備を行い利用者の日中活動の充実を図りました。

また、平成17年に「グループホーム青空」を開設し、平成18年の障害者自立支援法の施行を受けて、平成22年に「相談支援事業所ふなおか」を開設したところであります。さらには平成24年に「ふなおか更生園」を増築し、「日中一時支援棟」を建設いたしました。そして、平成27年には相談支援の更なる充実と放課後等デイサービス「フレンズポートふなおか」の開設など、50年の間に様々な変遷を経て現在に至っております。

現在、増築とバリアフリー化により、今までの4人部屋から2人部屋に変更し、必要に応じて個室の対応も可能とし、からだの不自由な利用者や高齢の利用者にもやさしい建物となり住環境を大幅に改善したところであります。「障がい者、高齢者が安全に円滑に利用できる誰もが住みよい福祉のまちづくり」というバリアフリーの思想にはハード面だけではなく、「サービスを提供するひとの心のやさしさや思いやり」がなければ、本当の意味でのバリアフリーにはならないと考えています。平成28年4月には障害者差別解消法が施行されました。全てのひとが、障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら安心して暮らせる地域社会の実現を目指して、人権・権利擁護に対するより高い意識と行動規範を持って質の高いサービスが提供できるように、職員の資質・能力向上並びに組織体制の強化を進めてまいります。

近年は、子どもと子育て家庭をめぐる社会環境は大きく変化し、虐待が疑われて入所する児童が増加しております。虐待により障がいを抱えてしまう児童も少なくありません。子どもにとって安心できる養育環境を保障するためには、家庭はもちろんのこと社会的に子どもを養育し保護する「社会的養護」の重要性が高まっており、子どものいのちを守る最後のセーフティネットとしての障害児入所施設の役割はますます重要となっていくものと考えております。

当組合が社会情勢や地域のニーズに的確に対応し、その役割を担えるように、この自然あふれる豊かな地で障がいのある子どもたちが健やかに成長し、年を重ねる障がいのある人が安心して生活できる施設として一層の努力をしていく所存であります。

これからも引き続き、関係機関並びに関係各位のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



新潟県知事
米山 隆一

祝 辞

「ふなおか学園」が創立50周年を迎えられたこと、並びに、「ふなおか更生園」が創立30周年を迎えられたことを、心からお祝い申し上げます。

新潟県中東福祉事務組合の皆様のご熱意により、昭和41年に「ふなおか学園」が開設され、50年もの長きにわたり地域の障害児の福祉の向上に貢献されてこられました。また、昭和61年には「ふなおか更生園」が開設され、障害児者併設の施設として、利用者の自立に向けて一貫した支援を進めてこられたことに対し、深く感謝を申し上げます。

近年では、グループホーム「青空」を開設され、利用者の地域生活移行を進めるとともに、相談支援事業や短期入所事業の実施により地域で生活する障害児者及び保護者への支援を行い、また、放課後等デイサービス「フレンズポートふなおか」を開設され、障害児の療育支援にも力を注ぐなど、多くの実績を積み重ねながら、地域における障害児者の支援の拠点として大きな役割を果たしてこられました。

今日までの中東福祉事務組合並びに職員の皆様のご御努力と、保護者並びに地域の皆様の温かい御支援に、心から敬意を表します。

この50年間の振り返りを見ると、長い措置制度の時代を経て、平成15年の支援費制度の導入による契約制度への転換の後、平成18年の障害者自立支援法の施行、児童福祉法の改正による障害児施設の契約制度への移行、平成25年の障害者総合支援法の施行と、特に近年はめまぐるしく制度の変更が行われてきました。このような変遷を経て、現在では、障害児者に対するサービスが増加し、住み慣れた地域で生活できるよう基盤整備が進められているところです。さらに、本年4月には新たな法律である障害者差別解消法が施行されました。

県といたしましては、引き続き皆様と連携しながら、障害の有無によって分け隔てられることなく、地域でより安心して暮らしていける社会の実現を目指し、障害福祉施策の充実に取り組んでまいります。

「ふなおか学園」並びに「ふなおか更生園」におかれましても、これまで培われた豊富な知識と経験を生かし、利用される皆様へのサービスをますます充実され、地域とともに歩んでいかれますことを祈念し、お祝いの言葉といたします。



新潟市長
篠田 昭

ふなおか50年に寄せて

ふなおか学園の創立50周年ならびにふなおか更生園の創立30周年を心よりお祝い申し上げます。

昭和41年4月に、ふなおか学園を開設し、昭和61年9月に、ふなおか更生園を開設して以来、職員、利用者ご家族ならびに関係者のご努力と地域の皆さまなど多くの方々の温かい励ましの中、地域にしっかりと根を下ろしてこられたこれまでの歩みに対して深く敬意を表します。

また、障害児入所施設、障害者支援施設のほか、相談支援事業やグループホーム、放課後等デイサービス事業など幅広い事業を積極的に展開され、地域の福祉の向上への多大なるご貢献に、あらためて感謝を申し上げます。

近年、人口減少、少子・超高齢化と急激に社会が変化する中、福祉に対するニーズも多様化し、各種制度の改革やサービスの見直しが進められています。

障がい福祉の分野でも、平成18年に障害者自立支援法が施行されてから10年が経過し、この間、障害者権利条約の批准をはじめ、障害者虐待防止法、障害者差別解消法、障害者優先調達推進法などが成立するなど、障がい者施策を取り巻く状況は大きな変革期を迎え、障がいのある人が暮らしやすい社会づくりが進められています。

本市においても、第三次新潟市障がい者計画と第四期新潟市障がい福祉計画を定め、地域生活の支援体制の充実、自立の実現に向けた支援と療育・教育の充実、地域社会の障がいに関する理解の促進を基本目標とし、障がいのある人の入所施設から地域生活への移行や、福祉施設から一般就労への移行など、地域で暮らすために必要な支援を推進しています。

さらに、平成28年4月に「障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例」を制定し、障がいの有無にかかわらず、全ての市民が互いに人格と個性を尊重し合いながら、安心して暮らすことのできるまちづくりを目指しています。

ふなおか学園・ふなおか更生園の両施設におかれましては、今後とも豊富な知識と経験を生かされ、一層ご活躍されますようご期待申し上げますとともに、ますますのご発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



阿賀町長
神田 敏郎

障がいがある人たちの 輝く未来のために

この度、「ふなおか学園創立50周年・ふなおか更生園創立30周年」を迎えられたことを心からお祝いを申し上げます。

この大きな節目を契機として、知的障がいのある方の福祉の向上のため、輝ける未来のため、そして、この地域における障害者福祉の核として、これからも大きく貢献されることを期待するものであります。

さて、障害者福祉制度は、制度発足当初は行政の主導による「措置制度」でありましたが、平成15年4月の「支援費制度」の導入により障がいのある方の自己決定に基づきサービスが利用できるようになり、その後「障害者自立支援法」の制定を経て、障害者総合支援法が施行されているところであります。

今後も更に障害者保険福祉施策の充実が必要と考えており、法の理念に沿った「障がいの有無にかかわらず国民が相互に人格と個性を尊重し、安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与する」に向け、当町においても一層利用者支援の施策を進めて行く所存であります。

今年開催された「リオデジャネイロ パラリンピック」では、身体に障がいをもつ方に加え、知的障がいの方の活躍にも素晴らしいものがありました。選手の皆さんの活躍に全世界が感動し大きな賞賛が贈られたところであります。まさに、「障がいのある人もない人も共に暮らせる共生社会の実現」が具現され、「障がい者が社会へ貢献」をした象徴でありました。

障がいをもつ皆さんが、社会活動へ積極的に参加しながら充実した毎日を過ごせることの出来る社会の構築は、全ての人にとっても住み良い社会を作っていくことにほかありません。

このような社会の実現に向け、これからも、学園及び更生園の運営には、職員や関係者の皆さんのご労苦は大きいものがあると思われませんが、更に内容の充実が図られるようお願いするものであります。

結びに、開設以来、施設の運営にご尽力いただきました歴代の施設長をはじめとする職員の皆様並びに保護者の皆様、地域の方々をはじめとする福祉団体等の関係各位のご尽力とご労苦に対しまして衷心より敬意と感謝を申し上げます、お祝いの言葉と致します。



新潟県中東福祉事務組合
組合議会議長
渡辺 仁

ふなおか学園創立50周年・ ふなおか更生園創立30周年によせて

ふなおか学園が創立50周年、ふなおか更生園が創立30周年を迎えられましたことを、心よりお喜び申し上げます。

地域の障がい児の入所施設を整備するため当時11の市町村で一部事務組合を組織し、ふなおか学園を開設し、地域の障がい児を受け入れ、家庭的なあたたかい環境で保護・育成に努めてきました。

以来、新潟県中東福祉事務組合と改称し、ふなおか学園移転開設、ふなおか更生園開設などの大事業を成し遂げ、現在、グループホーム青空、相談支援事業所ふなおかなどの施設も運営しております。この間、平成の大合併により平成17年に新潟市と阿賀町も組合に加入し事務を継続しております。

施設の運営に利用者の立場で献身的に携わっている職員の皆様、そして施設の運営にご理解ご協力を賜わっているご家族並びに橋田地区の皆様にあらためて御礼申し上げます。

中東福祉事務組合では、利用者の尊厳と基本的人権を擁護し、利用者の立場にたって、自立した生活ができるよう支援することを基本理念に、ふなおか学園、ふなおか更生園の運営をしてきました。ここでは、児童施設、障がい者支援施設の特性を生かした日常生活や介護支援を提供し障がい児・者の生きがいや充実感、満足感が得られるように努めてきました。

障がい福祉の目的は、障がいのある人達が、年齢・障がいの状態などに関わりなく社会を構成する一員として市民生活を送ることができるように支援することではないでしょうか。半世紀にわたるふなおか学園の運営もその精神を基本にしてきたものと思います。

新潟市議会では、平成27年の9月議会で、「新潟市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例」を議決し、今年4月1日に施行されました。目指すところは、障がいのある人もない人も安心して暮らせる共生社会を実現すること。そのために、全ての市民が、障がいや障がいのある人への理解を深めるとともに、話し合いにより相互の立場を理解すること。障がいのある人の自立・社会参加を支援することです。

新潟市議会としても、障がいのある人を取り巻く状況について理解を深める施策を推進し、社会的障壁のない、ともに生きる社会を実現する共生の社会実現に向け継続的に努力してまいります。

最後になりましたが、ふなおかでサービスを受け、暮らす方々にとって、ふなおか園歌にあるように「明日への希望が湧いてくる」ふなおかであり、また、地域社会がそうなることをご祈念申し上げ、お祝いのことばといたします。



ふなおか家族会会長
諸橋 勲

感謝・希望

ふなおか学園創立50周年、ふなおか更生園創立30周年、誠におめでとうございます。過ぎてしまえば早いもので、いつの間にか50年、30年と時を重ね、感慨深い限りです。

次男は現在43歳、ふなおかには34年間お世話になっております。市長さん始め各自治体の行政の方々、職員、地域の方々、町内友達家族はもちろんの事、数えきれないほどの皆様にご協力とお世話になり心から感謝申し上げます。昭和41年ふなおか学園当初は、入所施設の確保が一番の課題でした。その後、関係行政機関のご理解により、昭和59年9月1日養護学校ふなおか分校移転。昭和61年9月1日ふなおか学園移転・ふなおか更生園開設・50名の成人施設開設となりました。平成17年4月1日グループホーム「青空」開設。平成19年11月1日こすもすの家開設。平成22年10月1日相談支援事業所「ふなおか」「こすもす」開設。

こんなにも多くの施設、相談所など安心安全の施設が、園を中心にふえましたこと心より感謝申し上げます。なんといても平成23年11月27日、新更生棟竣工。明るく、広く、立派な園舎が建設されました。ふなおかを訪ねると利用者も、明るくのびのびと出迎えてくれ、又訓練に行事にと、楽しく励んでおります。今後の課題として親なき後の問題など、悩みはつきませんが、職員に協力をあおぎ一歩づつ前に進んでいきたいと思っております。ふなおか学園、ふなおか更生園の更なる発展を願うと同時に、今後60年、40年に向けて新たな歴史を刻んで行くことができるよう祈念いたしたいと思っております。



新潟県中東福祉事務組合
事務局長
廣田 雅代

「笑顔」と「幸せ」のために

本年、ふなおか学園は創立50周年、ふなおか更生園は創立30周年を迎えることができました。

これもひとえに、県をはじめとして、新潟市、五泉市、阿賀町、並びに保護者の皆様、橋田地域福祉推進協議会、地域やボランティアの皆様などなど多くの方々からの暖かいご支援とご協力に、心から感謝と御礼を申し上げます。

ふなおかには小学生から70歳を超える高齢の方まで82人がいらっしゃいます。お一人おひとりその理由は様々ですが、ご家族と離れて暮らしておられます。その中には、小学校から現在までの30年を超える月日をふなおかで暮らしている方もおられます。

ご存知でしょうか。ふなおかの旧園舎に向かう坂道を、「涙坂」のことを。「昔は、障がいのある子を当時の月ヶ岡養護学校の分校に通わせるには、ふなおか学園に寄宿させることが条件で、小学1、2年の時に、仕方なくふなおかへの入所を選択せざるを得なかった。我が子をおいて、坂道を下る時、涙が止まらなかった…。今も忘れられない。」と涙をためて話してくださった保護者の方がおられます。命をかけて産み育てられたお子さんをお預かりし、その人の人生をサポートさせていただき責任の重さを強く強く感じております。

今まだ、障害福祉制度は変革の時です。措置から契約へ、障害者差別解消法、合理的配慮の義務付けがなされました。「人が、自分の意思で自分の人生を望むように生きることができる。」この当たり前のことがごく普通に可能となるように！そして、素敵笑顔で暮らしていただけるように！職員一同、全身全霊でその支えとなりお手伝いをさせていただきます。これからも障がいについての理解が一人でも多くの人に伝わりますように！強く願ってやみません。今後とも、皆様方からの変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。



昭和 63 年度卒園
西村 勇一

私のたのしみ

ふなおか学園創立50周年・更生園創立30周年おめでとうございます。

ぼくは今、白根の家から笹川プラスチックという会社に通っています。ふなおか更生園を卒園して28年になります。雨の日も風の日も休まず自転車で通っています。仕事は、車の内装や電気のカバーを作っている会社です。ぼくは製品の運搬作業を中心にがんばっています。辞めたいと思ったこともあったけど、仕事をしなければならぬと思い続けてやってこれました。これも回りの皆さんのおかげだと思っています。

休みの日は、月に1回自転車で「新潟のふるさと村」まで行き遊んで来ることと、仕事終わり家に帰ってから毎晩、ビール2本を飲むことが楽しみです。また、年に3~4回「ふなおか」に遊びに行き、知っている職員と話をしたり作業の手伝いをするのが嬉しいです。

今後の希望は、仕事をがんばって続け老後のためにお金を貯めることと、一人で暮らすようになったら、また「ふなおかのグループホーム」などで職員さんに見てもらいたいと思っています。よろしくお願いします。

ふなおかの思い出

学園創立50周年・更生園創立30周年おめでとうございます。

僕は、8月で20歳になりました。学園では小学校1年生から高等部3年生までの12年間を過ごしました。一番の思い出は、みんなと楽しくゲームをして遊んだり、グラウンドで逃走中ごっこをしたことです。また、ドライブで長岡丘陵公園や猪苗代湖などにも行って楽しかったです。

園では、イタズラをして怒られたこともあったけど、どうして僕が悪かったかを優しく教えてくれたことがうれしかったです。

卒園して新潟の家に戻ってからは、近くの作業所に毎日、自転車で休まず通っていました。そこでは缶の箱詰め・磨き・選別の作業をして月に3万円くらいもらっていました。今は、8月より白根にあるグループホームに入り、近くの作業所に行っています。9時から3時まで働いています。そこではメーターの分解作業をして部品の仕分け作業をしています。ふなおかで一緒だったOSさんも働いていて楽しいです。

僕の夢は、お金をためてDVDや服を買いたいんです。楽しいことをいっぱいしたいです。僕も一生懸命がんばるので、ふなおかのみんなもがんばってください。



平成 26 年度卒園
笹川 貴裕



ふなおか学園



ふなおか更生園



フレンズポートふなおか

学園おでかけ



更生園 おでかけ





ゴルフ場ボール拾い



洗濯物たたみ



ふなおか
作業風景



ラック作り



さかな養殖



竣工式

イベント



玉飛鳥関と



成人祝賀会



家族会より公用車寄贈



家族会環境整備



地域防災訓練

全体行事



ふなおか盆踊り



さいの神



ライオンズご招待



学園

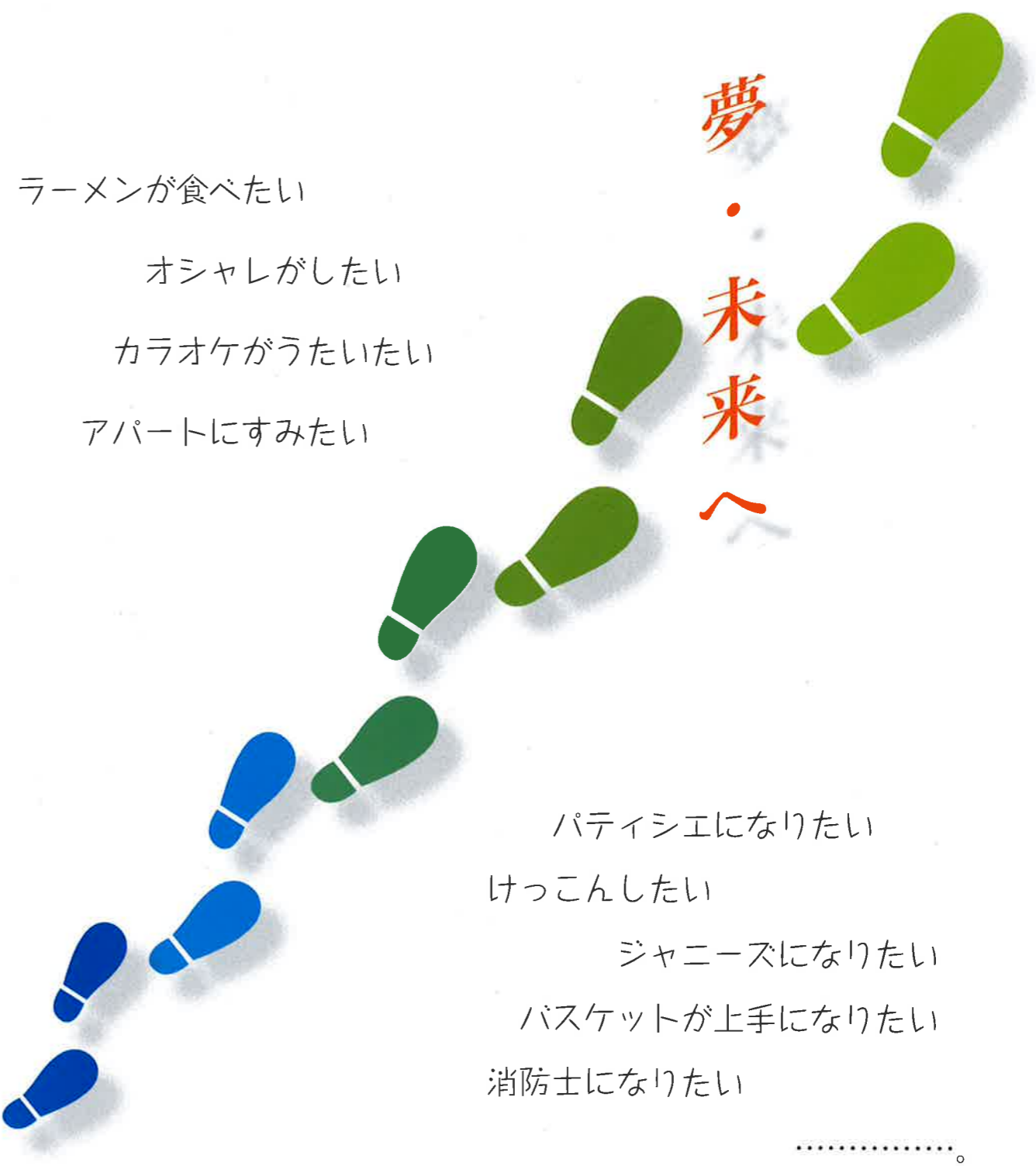
クリスマス会

更生園





- 昭和39年11月20日 一部事務組合立認可
- 昭和41年4月1日 ふなおか学園開設
- 昭和44年4月1日 重度棟併設認可 重度指定20名
- 昭和61年4月18日 組合同規約を一部改正し新潟県中東福祉事務組合に改称
ふなおか更生園設置認可
- 昭和61年9月1日 ふなおか学園移転開設
ふなおか更生園開設
- 昭和62年6月1日 グラウンド完成
- 平成5年11月16日 農園用農地整備
- 平成6年7月12日 農園用農地整備及び畑地化等農園（場）整備
- 平成11年10月30日 農舎棟、養魚池（6槽）完成
- 平成11年11月27日 作業棟完成
- 平成17年3月21日 組合に新潟市加入する。
新津市・白根市・小須戸町・横越町・亀田町が新潟市に編入合併し、
5市町が廃され脱退のため事務を継承する。
- 平成17年4月1日 組合に阿賀町加入する。津川町・鹿瀬町・上川村・三川村が阿賀町と
して新設合併し、4町村が廃され脱退のため事務を継承する。
- 平成17年4月1日 グループホーム「青空」開設（大字尻上192番地2）
- 平成18年1月1日 組合に五泉市加入する。
五泉市及び村松町が新設合併し2市町が廃され脱退のため事務を継承
する。
- 平成19年11月1日 五泉市障害者地域生活支援センター「こすもすの家」開所
- 平成22年10月1日 相談支援事業所「ふなおか」「こすもす」開設
- 平成23年11月27日 新更生棟竣工
- 平成24年4月1日 新体系移行学園（併設更生園開設）定員40人・更生園定員50名
- 平成27年4月1日 五泉市障害者地域生活支援センター「こすもすの家」移管
相談支援事業所「こすもす」を「ふなおか」に名称変更
学園・更生園の定員変更、学園（併設更生園含む）30名・更生園60名
放課後等児童デイサービス（フレンズポートふなおか）開設10名



ふなおか学園50周年・ふなおか更生園30周年 創立記念誌

【事務局】 新潟県中東福祉事務組合 ふなおか学園・更生園
〒959-1846 新潟県五泉市尻上118番地
Tel : 0250-42-0833 / Fax : 0250-42-3845
e-mail : info@funaoka-gosen.com

【発行日】 平成28年10月吉日

新潟県中東福祉事務組合

福祉型障害児入所施設

ふなおか学園

障害者支援施設

ふなおか更生園

グループホーム 青空

相談支援事業所 ふなおか

放課後等デイサービス フレンズポートふなおか



お問い合わせ先

新潟県中東福祉事務組合

〒959-1846 五泉市尻上 118 番地

代表：☎ (0250) 42-0833 Fax (0250) 42-3845

ふなおか学園：☎ (0250) 47-7860

ふなおか更生園：☎ (0250) 42-7070

相談ふなおか：☎ (0250) 47-7950

フレンズポート：☎ (0250) 42-0860

HP <http://www.funaoka-gosen.com/>

福祉型障害児入所施設 **ふなおか学園**



- 対象定員 障がい児（主として知的障がい児）
30名（学園24名／併設更生園6名）
- 事業内容
目的 【児童入所支援】
・障がい児を保護するとともに、独立、自活に必要な知識機能の取得を支援することと、家庭的な温かい環境づくりを目的としています。
活動 ・隣接する県立五泉特別支援学校（小、中、高）へ通学や、社会経験を豊かにするために外出等実施しております。
- 事業内容
目的 【経過的生活介護・経過施設入所支援】（併設更生園）
・自立と社会経済活動への参加を促進するため、利用者支援をする
とともに、その人の能力、特性に応じたサービスを提供し、自立した社会生活が送れるよう支援しています。
日中活動 ・空き缶リサイクル、古紙再生への手伝い等行っております。
- 事業内容
目的 【短期入所】（対象：児童） 定員3名
・居宅において介護を行う家族の疾病その他の理由により、障がい児入所施設への短期間の入所が必要な場合、当施設に入所していただき入浴、排せつ及び食事の介護、その他必要な支援をおこないます。
- 事業内容
目的 【日中一時支援】（対象：児童） 定員1名
・障がい児の日中における活動の場を確保し、家族の就労支援及び障がい児を日常的に介護している家族の一時的な休息を目的としています。

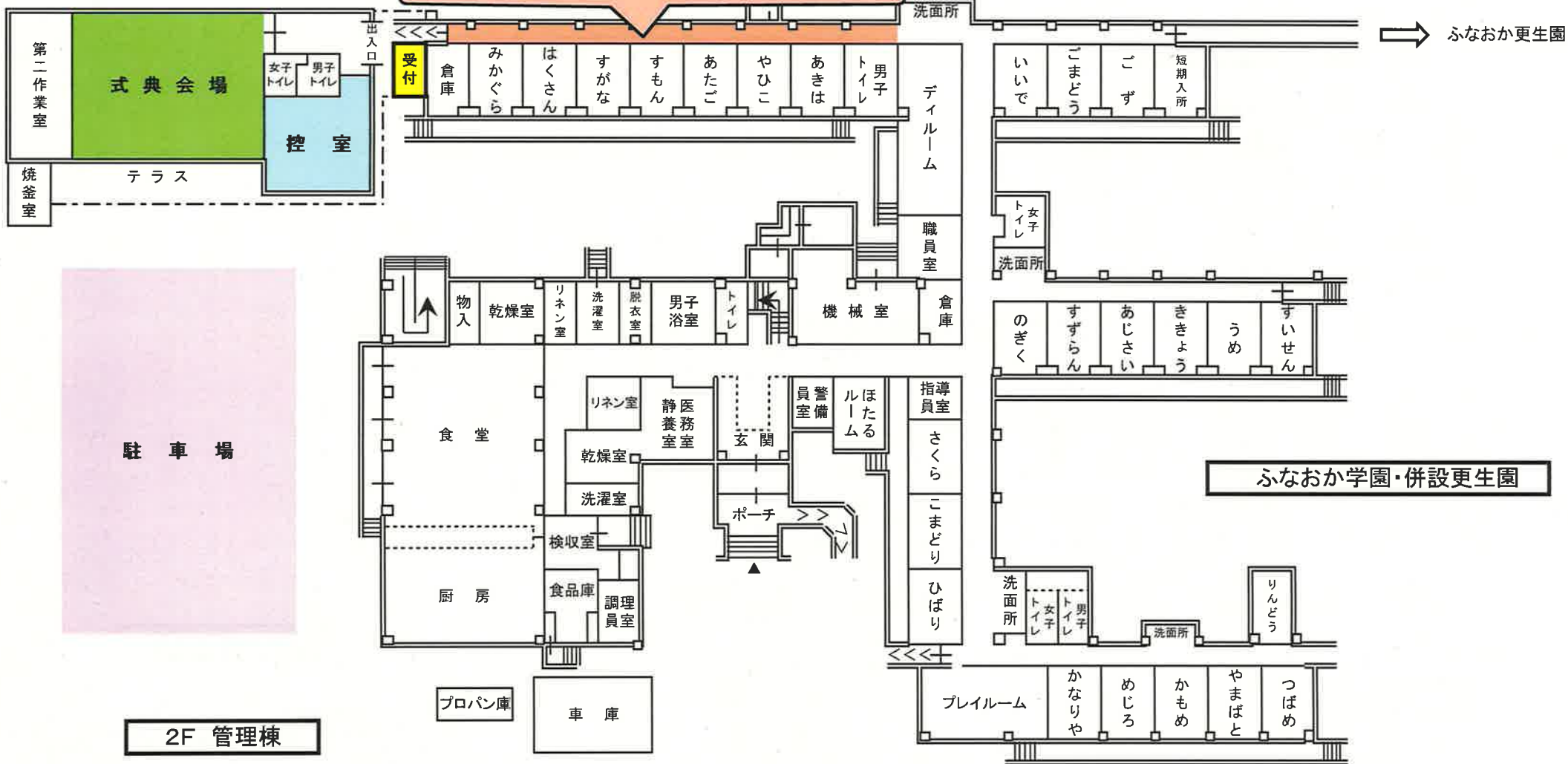
放課後等デイサービス **フレンSPORT ふなおか**



- 定員 10名
- 事業内容
目的 【放課後等デイサービス】 月～日
・授業の終了後又は学校の休業日に利用し生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進その他必要な支援を行います。
- サービス提供時間 通常日（放課後） 14：00～18：00
学校休業日 9：00～17：00
- 事業内容
目的 【日中一時支援事業】 平日（登校前支援）／日・祝日
・障がい児の日中における活動の場を確保し、家族の就労支援及び障がい児を日常的に介護している家族の一時的な休息を目的としています。
- サービス提供時間 平日（登校前支援） 7：30～ 9：00
日・祝日 8：00～18：00

※ご相談に応じますので、お気軽にお問合せください。

ふなおかの思い出(写真展示)



ふなおか更生園

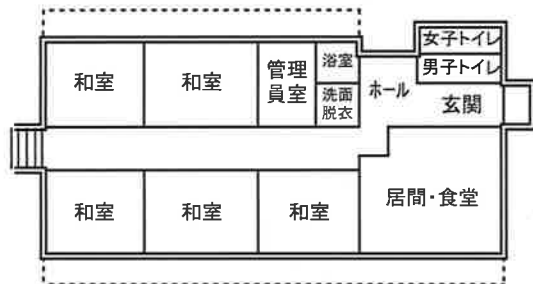
ふなおか学園・併設更生園

2F 管理棟

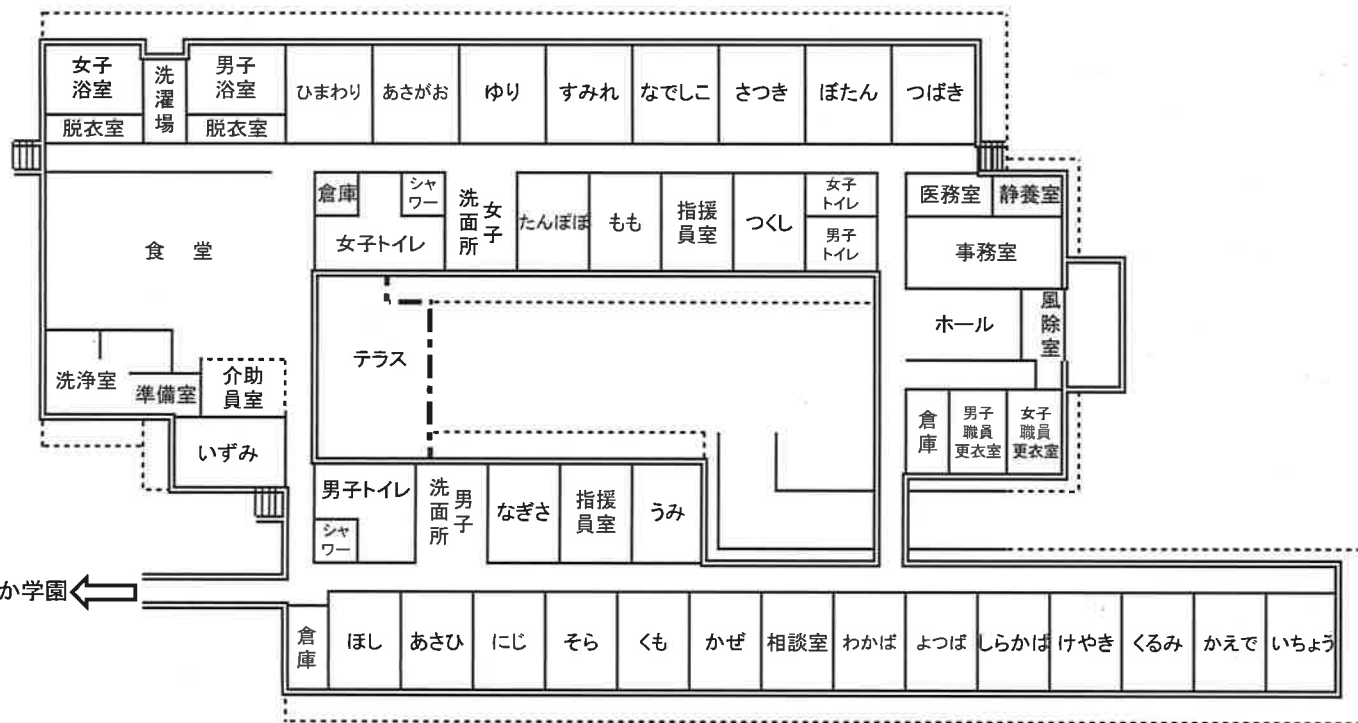


施設案内図

自活訓練棟「こもれ陽」



ふなおか更生園



日中一時支援棟



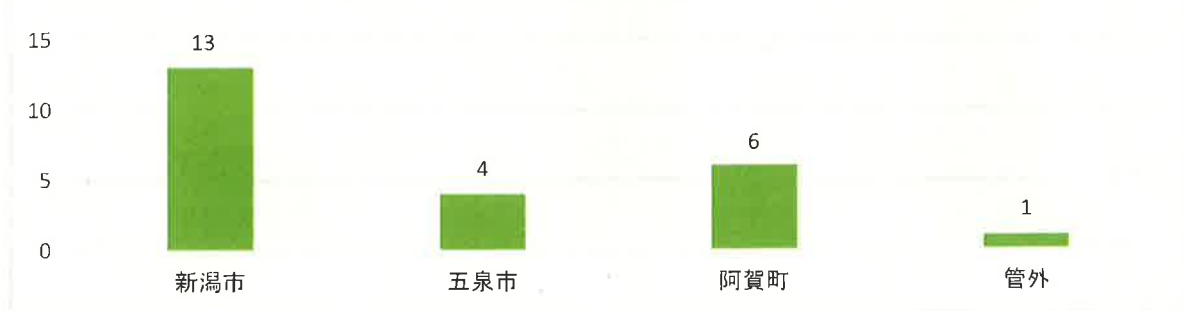
新潟県中東福祉事務組合の事業所別利用状況

○ ふなおか学園（併設更生園を含む）

市町別入所児者数 (平成28年3月31日現在)

市町別	新潟市	五泉市	阿賀町	管外	計
人数	13	4	6	1	24

ふなおか学園入所児者数



新潟市区別の利用状況 (平成28年3月31日現在)

区	北区	東区	西区	中央区	南区	江南区	秋葉区	西蒲区	計
人数	3	3	0	2	1	2	1	1	13

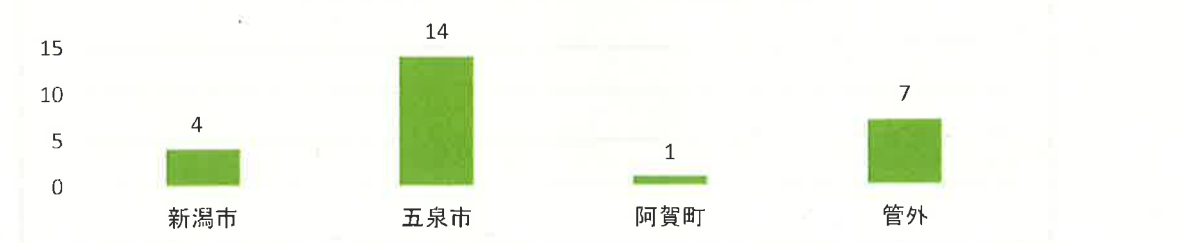


○ フレンズポートふなおか

市町別利用児童数 (平成28年3月31日現在)

市町別	新潟市	五泉市	阿賀町	管外	計
人数	4	14	1	7	26

フレンズポートふなおか利用児童数

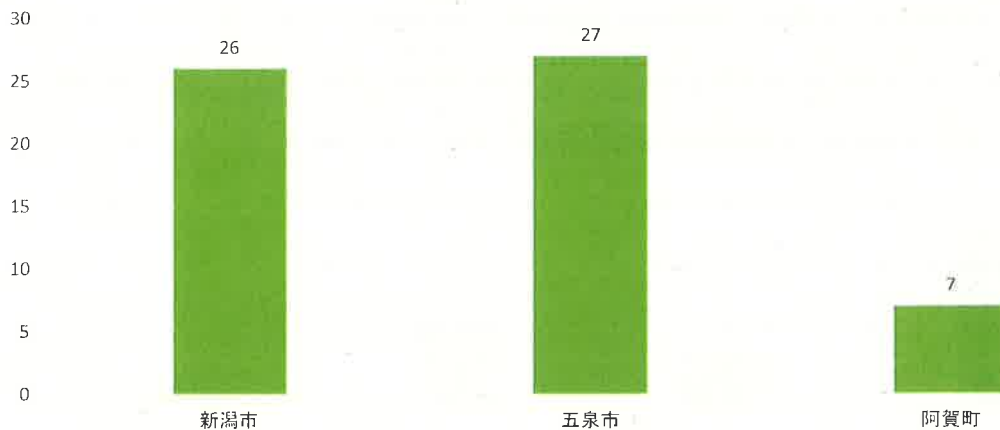


○ ふなおか更生園

市町別入所者数 (平成28年3月31日現在)

市町別	新潟市	五泉市	阿賀町	計
人数	26	27	7	60

ふなおか更生園 入所・利用状況



○ グループホーム青空

市町別入所者数 (平成28年3月31日現在)

市町別	新潟市	五泉市	阿賀町	計
人数	3	1	1	5

グループホーム青空入所者数

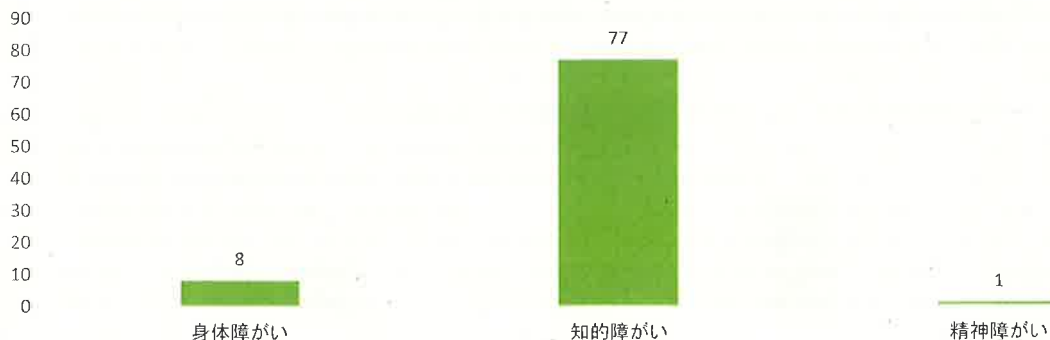


○ 相談支援事業所ふなおか

障がい別利用者数 (平成28年3月31日現在)

障がい別	身体障がい	知的障がい	精神障がい	計
人数	8	77	1	86

相談支援事業所ふなおかの利用者



障害者支援施設 ふなおか更生園



●対象 障がい者（主として知的障がい者）
●定員 60名

●事業内容 生活介護、施設入所支援
●目的

- ・自立と社会経済活動への参加を促進するため、利用者支援をするとともに、その人の能力、特性に応じたサービスを提供し、自立した社会生活が送れるよう支援しています。

●日中活動

- ・新鮮野菜を育て地域への販売。花台、本棚をはじめ、そうきん、ビーズアクセサリーを作成し販売実施しております。

●事業内容 短期入所 定員2名
●目的

- ・居宅において介護を行う家族の疾病その他の理由により、障がい者支援施設への短期間の入所が必要な場合、当施設に入所していただき入浴、排せつ及び食事の介護、その他必要な支援をおこないます。

●事業内容 日中一時支援 定員1名
●目的

- ・障がい者の日中における活動の場を確保し、家族の就労支援及び障がい者を日常的に介護している家族の一時的な休息を目的としています。

共同生活援助 グループホーム青空



●所在地 五泉市尻上 192 番地 2

●定員 5名

●目的

- ・障がいのある人たちが一般の住宅やアパートを借りて、地域社会の中で支援を受けながら、ごく普通に生活をしているところです。
- ・利用者への必要な支援は世話人とバックアップ施設（ふなおか更生園）が行います。

相談支援事業所 ふなおか



●所在地 フレンドポートふなおか 内
●受付時間 月～金（土・日・祝日を除く）
8：30 ～ 17：15

●事業内容

- ・療育相談、卒業後の進路、福祉サービスの利用の仕方など、いろいろな相談を受け付けております。必要に応じて関係機関を紹介します。

アクセス
 (ふなおか学園・更生園)

